

スタンリー・カヴェル 石原陽一郎 訳

眼に映る世界

映画の存在論についての考察

Stanley Cavell, *The World Viewed: Reflections on the Ontology of Film*

不在の「現実」をスクリーンに映し出し、一つの世界を魔術的に出現させる映画というメディアは、二十世紀の歴史と思考に何をもたらしてきたか。その物理的・技術的基盤に注目しつつ、絵画・写真・演劇とは異なる映画そのものの本質を、モダニズムの美学批判的眼差しのもとに探究した映画理論の古典、待望の邦訳。



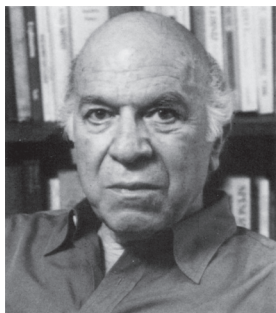
叢書・ユニベルシタス 973 上製・四六判 / 384 頁

定価 3990 円(本体 3800 円+税) ISBN978-4-588-00973-0 C1310

ドゥルーズ『シネマ』と双璧をなす哲学的映画論の白眉。

映画のメディアムはいかにしてこの世界を提示し、再生するのか？

現代アメリカ哲学を牽引する著者の初期代表作。



スタンリー・カヴェル

1926年、アメリカ・ジョージア州アトランタに生まれる。47年、カリフォルニア大学バークレー校で文学士号取得。61年、ハーヴァード大学で博士号取得。63年より同大学哲学部で教鞭をとる。96-97年、アメリカ哲学会（東部支部）会長。特定の「学派」に属さず、日常言語の哲学、文学と文芸批評、美学、政治学、映画とオペラ研究などで、哲学の境界と精神を広げ、生活・文化・教育が意味するもののヴィジョンを追究している。邦訳書に『センス・オブ・ウォールデン』（法政大学出版局）、『哲学の〈声〉——デリダのオースティン批判論駁』、共著『〈動物のいのち〉と哲学』（春秋社）がある。

切り取って最寄りの書店にお渡し下さい

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL 03-5214-5540 / FAX 03-5214-5542

注文書 眼に映る世界 映画の存在論についての考察 ISBN978-4-588-00973-0 (冊) 定価3990円(本体3800円+税) ▶ 2012年4月23日配本予定

【好評既刊】センス・オブ・ウォールデン ISBN978-4-588-00833-1 (冊) 定価2940円(本体2800円+税)

お名前： _____ ☎
ご住所： 〒 _____

書店名・番線